

○平成30年度活動報告について

1. 委員会

- 1回目： 7月20日（金）ジップアリーナ会議室
- 2回目： 11月27日（火）岡山ロイヤルホテル
- 3回目： 2月25日（月）ジップアリーナ会議室

2. 競技団体激励

- 7月8日（日）～9月8日（土） 6競技・22種目種別
ボウリング（全種別）・ソフトボール（全種別）・水泳（競泳・水球・OWS・AS）・
バスケットボール（全種別）・アーチェリー（少男・少女）・空手道（全種別）

3. 第73回国民体育大会会期前大会・本大会結団壮行式

- 第74回国民体育大会冬季大会（スケート・アイスホッケー競技）結団壮行式
- 会期前大会：8月29日（水）岡山県立図書館
- 本大会：9月18日（木）ジップアリーナ岡山
- 冬季大会：1月16日（金）岡山県立図書館

4. 競技間交流事業

- 開催日時：12月1日（土）～2日（日） 玉野スポーツセンター
- 会場：玉野スポーツセンター
- 参加者：中学生9名・高校生32名・指導者5名
- 参加競技：水泳（競泳・水球）、ボクシング、ウェイトリフティング・ハンドボール
- 活動内容：アイスブレイク、クロストレーニング（ファジアーノ岡山、リズムジャンプ、レスリング）、体幹トレーニング、栄養について、心理サポート、パートナーストレッチ、栄養サポート（保護者対象）
- 備考：別紙参照

5. オリンピアン特別強化支援事業

実施団体（5団体・7事業）

- 岡山県体操協会：強化練習会実施・トレーナー招聘
- 岡山県山岳連盟：JOCジュニアオリンピックカップ参加
- 岡山県水泳連盟：ジャパンオープン・日本学生選手権・FINAワールドカップ参加
- 岡山県アーチェリー協会：JAPANインドアオープンアーチェリー大会参加
- 岡山県馬術連盟：馬場馬術強化試合・訓練事業参加

6. 競技団体ヒアリング

11月6日（火）～ 11月30日（金） 国体正式競技41競技

内 容：今年度の競技力向上事業の進捗状況について
国体中国ブロック大会・本大会等の総括
次年度の競技力向上事業の概要について
次年度の戦力分析について
県体協への要望等

まとめ：下記参照

- ・今年特に成績が悪かった少年女子については、選手不足の競技団体が多く、強化よりもまずはジュニア層へ普及を行い、選手獲得をしていく段階である。
- ・成年女子については、特定の競技を除いては、大学や社会人でトップレベルの競技水準を維持して活動していくことが難しい競技が多く、国体で全国レベルの選手や、実業団チームに勝つことは非常に厳しい状況である。
- ・中国ブロック各県の現状として、少年種別については、近年は鳥取県、島根県も競技によっては力をつけてきており、混戦となる競技が多くなってきている。
成年種別については、実業団チームのある競技種目については、本大会出場枠が2枠ある年でなければ、本大会出場は極めて厳しい状況である。
- ・国体の新種目の強化やルール・器具の規格変更、参加年齢の区分変更等による対応については、各競技団体に依頼しているが、該当競技団体においては、選手不足や練習環境の未整備、器具用具の老朽化等の問題を抱えている競技団体が多い現状がある。
- ・昨年に引き続き、各競技団体より、各大会（特にブロック大会）での配宿料金の高騰により支給額との差が大きくなっているため、どうにかならないかという要望がある。
- ・大会へ帯同する各競技団体のトレーナーへの補助についても引き続き要望がある。